

## 日本不妊看護学会ニュースレター No.8

## Japanese Society of Infertility Nursing (J.S.I.N)

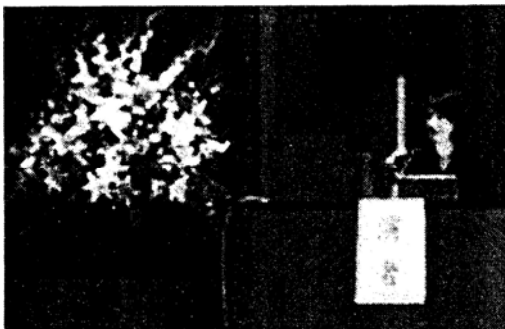
## 第3回日本不妊看護学会学術集会開催にあたって

第3回学術集会長 森 恵美

台風一過の翌日、8月27日出第3回日本不妊看護学会学術集会を千葉大学けやき会館で開催いたしました。北は北海道から南は沖縄まで日本全国から約170名の方が、本学術集会のためにご参集くださいました。本学会のメインテーマを「不妊看護の専門性の追究と発展」として、多くの方々の積極的参加を期待しておりましたが、予想以上の盛会に、不妊看護への関心の高さや専門性の進展を感じ、会長として身の引き締まるような気持ちになりました。企画委員会、実行委員会を代表しまして、ご参加の皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。



さて、学会は、会長講演「不妊治療によって妊娠した女性への看護」に始まり、一般口演第1群「不妊治療後の妊婦」、第2群「不妊専門相談・性教育」、第3群「不妊治療における選択と対処」、そして、シンポジウム「生殖医療における倫理的問題と対応」でした。一般口演においては、7題の研究成果発表がある一方、実践報告発表は4題にとどまり、不妊看護が緒についたばかりであることが伺えました。今後の学会で、実践報告が増えますことを期待したいと思います。シンポジストは3名でしたが、それぞれのお立場から有益なご講演をいただき、ディスカッションでさらにその内容理解が深まり、不妊看護を行う上で避けられない倫理上の課題とその解決への示唆が得られたと考えます。これらの内容は第3巻第1号に掲載されますので楽しみです。



一般口演

## 目次

- \* 第3回日本不妊看護学会学術集会開催にあたって……1
- \* 日本不妊看護学会学術集会に参加して ……2
- \* 総会報告 ……3
- \* 第4回日本不妊看護学会学術集会ご案内……4
- \* 第23回日本受精着床学会RTD報告  
男性原因不妊のカップルへの看護に参加して ……5
- \* 理事会報告 ……6
- \* 事務局からのお知らせ ……7
- \* 10月勉強会のお知らせ・編集後記 ……8

本学会のねらいは、第1に不妊看護を専門とする看護者同士の情報交換、第2に不妊看護に関心があるけれどもどのように研鑽をしたらよいかと思っている多くの看護職者に、不妊看護を紹介すること、そして第3に不妊看護以外の領域の方々との交流をとおして、不妊看護の専門性を明確にしていくことでした。参加者から寄せられたアンケートから、このねらいがほぼ達成でき、多くの方々にご満足いただけたと評価しております。本会が活気あふれる研鑽ができる場となり、ご参加の皆様が有意義な時を過ごしていただいたことをうれしく思っております。自由記載欄にも多様なご意見をいただきました。今後の学

会の運営に係る重要点をご指摘いただいたと思います。会長講演は抄録集にパワーポイント原稿が間に合わなくて申し訳ございませんでした。その内容は次の学会誌に掲載する予定ですので、ご了承をお願いします。また、学術集会の受

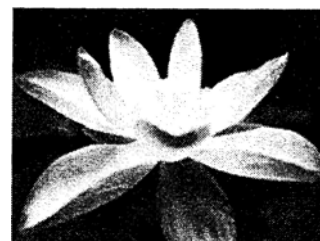


音響等の運営につきましては至らないこともあったかと存じますが、ご容赦いただきまして誠にありがとうございました。

最後に、第3回の学術集会のポスターに使用した、蓮の花についてその意味をご紹介したいと思います。千葉県検見川遺跡の縄文時代の泥炭層から発見された3粒の種のうち1粒が約2000年の良き眠りから目を覚まし見事に発芽して花を咲かせたという大賀蓮（オオガハス）の感動的な話はご存じでし



うか。蓮の種は非常に丈夫な殻をもっていて、乾燥や湿潤に耐えしのぎ最適な環境が整うまで何百年も発芽を待って耐えるのだそうです。不妊女性は苦しくても悲しくても、自分からケアを求めずひたすら耐えている人が多いです。不妊看護はその声なき声に耳を傾けるということが第一歩であり、最適な環境を整えることの重要性を蓮の花は教えてくれていると考えました。そして、この大賀蓮は現在でも、千葉市内にある千葉公園で見ることができます。また、千葉大学の構内の池で、平成13年に、学生の5年がかりの努力でこの蓮の花が咲きました。千葉大学で開催される夏の日本不妊看護学会にふさわしいシンボルであると考えました。後から知った話で恐縮ですが、千葉市の花はこの「オオガハス」であり、因縁を感じました。今後も子どもがほしいと思っている方々にとっての最適な環境を整えることについて、ご一緒に学んでいきたいと思



千葉大学で咲いたオオガハス  
(千葉大学広報vol.115より)

## 「日本不妊看護学会」に参加して

新潟青陵大学看護福祉心理学部看護学科 久保田 美 雪

森先生の会長講演では、不妊治療によって妊娠した女性が妊娠期の母親役割獲得プロセスを円滑に進めるための看護について、興味深く学ぶことができました。不妊治療によって妊娠した女性は、妊娠を「悲観的」または「肯定的」に受けとめること、悲観的に受けとめている妊婦に対しては、一般的な保健指導が不安の増強につながるという内容を新たに知りました。そして、共感的に理解し、時には見守っていくことの重要性に気付かされました。また、私自身も不妊に関してマイナス面に目を向けがちであったため、プラス面を引き出し共感的に関わっていくことが、不安の軽減や母親役割獲得につながると実感しました。

今回の学会に参加して、1日という短い時間でしたが内容が濃く充実し、また、会員の皆様の活躍と成果を実感することができました。今回の学びを今後にならげていきたいと思

## 平成17年度 日本不妊看護学会総会報

日時：平成17年8月27日出13：20～13：50  
場所：千葉大学 けやき会館  
出席：47名 委任状42通（本学会則第16条により総会成立）  
総司会：岸田理事  
議長：森 恵美

### 報告事項

- 1) 理事会報告（森理事長）：16年度の理事会開催は9回（4回書面）
- 2) 事務局（総務）報告：平成17年8月15日現在の会員数209名。主な活動は、会員管理、学会の運営に関連する業務及び、ホームページの運営・管理。
- 3) 各委員会報告
  - 実践開発委員会（福田理事）**：不妊看護に携わる看護職者に対するEメール相談、相談活動に伴うシステム上の調整および活動のPR。
  - 教育推進委員会（柴田理事）**：地区勉強会5回（関西、九州、山陰、北海道、関東）、不妊看護実践セミナー（於：**広報委員会（遠藤理事）**：ニュースレターの発行（年4回、最終発行部数199）と、ホームページでの掲載、学会紹介のリーフレット作成および関連学会等でのPR活動。
  - 編集委員会（森恵美理事）**：日本不妊看護学会誌第2巻1号発行（平成17年4月）のための編集活動。学会誌の構成は第2回学術集会の会長講演、シンポジストの寄稿、学会員の研究論文。
  - 将来検討委員会（野澤理事）**：国内外の不妊看護関連情報の収集および情報提供（ニュースレター・ホームページ掲載）、18年度公募開始予定の研究助成金の助成方法、審査方法等の検討。
- 4) 平成16年度収支決算報告（村本理事）  
委員会活動の赤字の理由：会員数の増加に伴うニュースレターの追加発送（広報）、抄録費の予算オーバー（教育推進）、実践開発委員会の経費がゼロなのは、委員の個人的な努力によるもの。次年度繰越金は193,346円。
- 5) 会計監査報告（此川監査委員）  
収支決算に関して平成17年8月26日に決算書面およびそれに付随する証票に照らして監査を執行した結果、適当であった旨の報告がされた。

### 審議事項

- 1) 平成17年度活動計画案【森理事長より総会資料に基づき活動計画の説明がされた】
    - 総務（事務局）**：個人情報保護に基づいた会員管理とホームページ管理、関連団体への会議出席や学会としての意見提出。理事会開催は5回の予定。他、学会運営に必要な活動。
    - 実践開発委員会**：会員が有効利用できるような相談活動と活動のPRの実施。相談者のプライバシー保護についての検討とシステム作り、相談件数に応じた相談システムの改善と、相談員の人材の確保と質の維持についての検討。
    - 教育推進委員会**：セミナー、地区勉強会の開催。不妊医療に関する情報収集、情報提供。
    - 広報委員会**：ニュースレター発行（平成17年9月、12月、18年3月、6月）と発行日より一年経過したもののホームページに掲載。関連学会等での積極的なPR活動。
    - 編集委員会**：日本不妊看護学会誌第3巻1号の発行のための編集活動（平成18年4～5月発行予定）。構成は第3回学術集会の会長講演・シンポジストの寄稿・学会員の研究論文。
    - 将来検討委員会**：平成18年公募開始予定の研究助成金のシステムと内規の検討。国内外の情報収集と情報提供。
- #### 選挙管理委員の選出
- 第7回理事会で佐々木和子氏（国立看護大学校）、羽根田公江氏（埼玉医科大学短期大学）、中曽根朋子氏（聖路加国際病院）の3名が選挙管理委員として推薦された。選挙管理委員会を立ち上げて準備を進めていく予定。

2) 平成17年収支予算杏(村本理事)

収入の部: 会員数210名の会突収入

支出の部: 理事会費はこれまで未払いであった理事の交通資を予算計上し増額。広報委員会はニュースレター発行に

伴う経費を会員数の増加分を増額。教育推進委員会は看護実践セミナー代、実践開発委員会は、16年度

## 平成17年度 収支予算書

(平成17年8月15日から平成18年8月31日まで)

日本不妊看護学会

### 収入の部

(単位: 円)

科 目	小 科 目	予 算 額	備 考
会 費 収 入	年会費	1,260,000	@6,000 × 210名
繰 越 金		193,346	
収入合計	収入合計(A)	1,453,346	

### 収出の部

科 目	小 科 目	予 算 額	備 考
会 議 費		【135,000】	
	理事会会議費	100,000	理事交通費計上
	総 会 費	35,000	
事 業 費		【805,000】	
	広報委員会	220,000	ニュースレター年4回発行
	教育推進委員会	60,000	看護実践セミナー
	実践開発委員会	5,000	相談活動関係通信費
	編集委員会	400,000	
	将来検討委員会	70,000	研究助成拠立金など
	学術集会・講演全輪助費	50,000	
事 務 費		【300,000】	
	人 件 費	230,000	アルバイト(PC入力・HP管理)
	通 信 費	30,000	
選 挙 費		【60,200】	
	会 議 費	15,000	
	通 信 費	35,200	
	雑 費	10,000	
団体登録料		80,000	日本看護系学会協議会
予備費等		73,146	
支出合計(B)		1,453,346	
次年度繰り越し金(C) = (A)-(B)		0	

3) その他(森理事長)

第7回理事会で第4回学術集會会長に遠藤俊子氏(山梨大学大学院医学工学総合研究部臨床看護学講座教授)、第9回理事会では第5回学術集會会長に福田貴美子氏(蔵本ウィメンズクリニック看護師長)が推薦された。

#### ＜第4回・第5回学術集會会長からのあいさつ＞

遠藤俊子氏: 第4回学術集會及び総会は、平成18年9月3日(日)に山梨大学医学部臨床大講堂にて開催予定であるので、ぜひ足を運んでいただきたい。詳細についてはニュースレターやホームページ等で紹介する。

福田貴美子氏: 第5回学術集會をよりよい学会にするために努力したい。詳細については、適宜会員に周知する。

## 第4回日本不妊看護学会 学術集會ご案内

学術集會長: 遠 藤 俊 子

(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

期: 平成18年9月3日(日)

場: 山梨大学医学部臨床大講堂

(山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110  
山梨大学玉穂キャンパス)

皆様のお越しをお待ちしております

# 第23回日本受精着床学会RTD報告

広島HARTクリニック 出口 美寿恵

Round table Discussion『自己注射の普及をはじめとする通院負担の軽減にむけた検討』で、患者団体Fineから自己注射経験者の意見や、ART施設において自己注射を実施する場合の取組みや対応等活発な意見交換をしました。

インスリンの自己注射の認可には60年の年月を要しましたが、近年はインターフェロンやエピネフリン等が認可されました。これは患者団体と医療機関、学会が同調して運動を行い、多くの人々の共感、賛同を得たことで早期に実現しました。

海外では一般的に行われている自己注射ですが、日本でも不妊治療で自己注射が認可されれば、注射だけの通院は必要なくなり、患者の利便性は増すと考えます。その為にも医療者側は自己注射についての説明、デモンストレーション等の技術や手順を徹底し安全性を確立させる必要があります。患者団体と協力し社会に認知してもらえるような活動が出来れば、自己注射が認可されると考えます。

今回の議論が実現に向けた第一歩と考えて啓蒙活動を進めていきたいと思います。

## 実践不妊看護セミナー

### 「男性原因不妊のカップルへの看護」に参加して

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 金丸 道子

神戸市流通科学大学で開催された第2回実践不妊看護セミナーに参加しました。これは、不妊看護の最新知識を吸収できる研修プログラムだと思いました。今日は、この紙面をお借りし、セミナーに参加した感想を一部ですがお伝えします。

講義は、テーマに沿って多角的な視点で問題が捉えられるように構成されていました。浅野さんには看護上の問題点をわかりやすく伝えていただきました。今後、難問にぶつかった時には、コンサルテーションをお願いしたいと思いました。

今回のテーマが「男性原因不妊のカップルへの看護」ということで、男性の心理について考えさせられるきっかけになりました。もしかすると男性の心理は女性より複雑で屈折しているのかもしれないかもしれません。正直なところ女性の自分が感情移入するのは難しい部分があると感じました。不妊看護の分野にも、もっと男性看護師が入ってくる必要があると思います。その点、菅野さんは男性看護師の良きモデルだと思いました。

西澤さんには「カップルの問題を解決するには『自分の気持ちを聞いてもらうことよりも、相手の気持ちを聞

くことが大切』であることに気づかせること」を指摘され、「私は考え違いをしていたかもしれない」と思い至りました。そういえば「give and take」はgiveが先でした。与えれば自ずと与えられるのが節理なのですね。

講義に続き、事例に基づいてグループワークを行いました。グループワークはいつも予期した以上の成果をもたらします。「もう意見は出尽くした」というところまで来ると、意外な気づきや発見があります。個人の中に内在している可能性が表出してくる、グループワークの手法そのものにも関心が持てました。

グループワークの後、医師の大久保さんに「看護師さんは3~4手先を読んで仕事されていますね」と評価していただいたことは看護職にとって大変励みになりました。看護の力はまだまだ過小評価されています。患者のQOLを高めるため、看護の方法論にもっと自信を持ち、自らアピールしていくことも必要です。

以上、私がセミナーに参加した感想を書きました。まだまだ書き尽くせませんが、これからもセミナーで多くの仲間と出会いエンパワメントを頂きたいと思いません。

## 第7回 理事会報告

日時 : 2005年7月16日(土) 14時～16時  
場所 : 聖路加看護大学 5階505  
出席理事 : 森(明)・有森・遠藤・岸田・此川・野澤・森(恵)  
幹事 : 長岡

### 報告事項

各委員会報告、第3回学術集会準備状況報告、実践不妊看護セミナー準備状況報告、生殖医療コーディネータの意見書提出について、看護系学会等社会保険連合(看保連)への会費納入について、日本看護系学会協議会参加報告。

### 審議事項

1. 入会審査: 入会希望者9名の承認
2. 2005年度の総会の議事進行についての検討
3. 選挙管理委員の選出について: 委員に3名が承認された。
4. 第4回学術集会長の選出について: 遠藤理事に次期学会長推薦することを決定した。
5. 本会における個人情報保護の取り組みについての検討
6. 日本受精着床学会からの申し出について: 本会PRのブースとラウンドテーブルディスカッション3卓の話題提供を担当する
7. 看護協会で出版した「Stop Smoking」冊子について: 学会として、喫煙と不妊の関係についての情報を追加してほしい旨、協会に申し入れる。

## 第8回 理事会(書面)

日時: 2005年7月29日(金)

### 審議事項

入会審査7名の承認

## 第9回 理事会報告

日時 : 2005年8月26日(土) 16時～18時半  
場所 : 聖路加看護大学505  
出席理事 : 森(明)・有森・遠藤・岸田・此川・柴田・福井・福田・村本・森(恵)  
幹事 : 清水・長岡

### 報告事項

各委員会報告、第3回学術集会準備状況報告、第23回受精着床学会報告、実践不妊看護セミナー報告、看護系学会等社会保険連合(看保連)設立総会報告。

### 審議事項

1. 入会審査: 入会希望者4名の承認
2. 総会の議事進行について
3. 看護協会出版の「Stop Smoking」冊子に対する本会からの提案について: 案に基づいて検討された。修正後、理事長名で看護協会に提出する旨、承認された。
4. 研究助成の内規の検討: 助成対象の条件を、会員歴2年以上とすることや、審査会を開催するなど検討を行った。
5. 学会誌の販売について: 1冊2000円+郵送費で販売する
6. 次々期(2007年)学術集会長について: 福田貴美子氏(蔵本ウイメンズクリニック)を推薦することを決定した。

## 事務局からのお知らせ

1. 日本不妊看護学会へのお問い合わせ、会員に伝えたい情報、ニュースレターに関するご希望、ご意見などがありましたらFAX (03-5550-2266) もしくはeメールで (jsin@slcn.ac.jp) お気軽にお問い合わせ下さい。
2. 住所・氏名等の変更がある場合は、速やかにご連絡下さい。
3. 知り合いの方で入会希望の方がいらっしゃいましたら、入会案内をお送りしますのでお名前、ご連絡先をお知らせ下さい。

## 会費の納入は済みですか？



会員みなさま、今年度の会費の納入はお済ですか？  
「平成17年度会費」は平成17年9月1日～平成18年8月31日までの諸活動に伴う会費です。また、18年夏に実施する役員選挙は、18年3月末日までに会費を納入された2年以上の会員が対象となります。ぜひ納入をお願い申し上げます。

## もしも不妊看護実践で行き詰ったら... 日本不妊看護学会が相談にのります

実践開発委員会では、会員を対象にホームページ上で相談活動を行っています。どうぞお気軽にご相談下さい。

### 取り扱う相談とは？

事例の相談  
生殖医療の知識的なことに関する相談  
不妊の方と向き合う時の看護職自身のジレンマに関する相談  
看護する場の改善（相談室開設など）にともなう相談 等

### 相談される場合は・・・

日本不妊看護学会のホームページにアクセスし、専用の「ご相談内容記入用紙」に相談内容を出来るだけ詳細にご記入下さい。

## 10月勉強会のお知らせ

### 東海地区勉強会

【日 時】10月23日(日) 14時30分～16時30分

【場 所】名古屋第二赤十字病院1病棟10階第1会議室(会場内 禁飲食)

【テーマ】 ステップアップ時の看護

【参加費】 資料代 ￥100

【申込み】 資料の準備のため、事前申し込みにご協力ください

日本看護協会神戸研修センター 教育研修部 認定教育係  
不妊看護認定看護師教育課程担当 柴田 文子

TEL : 078 - 230 - 3251 (直通) 078 - 23013250 (代表)

FAX : 078 - 230 - 3256

E-mail : fumiko.shiba@kobe.nurse.or.jp

名鉄・JR・近鉄「名古屋」駅より、

地下鉄東山線をご利用：「本山」駅で地下鉄名城線(4号線)に乗り換え「八事日赤」駅下車、事出口より出ます。構内北側のエレベータを使って出口正面が病院入り口です。

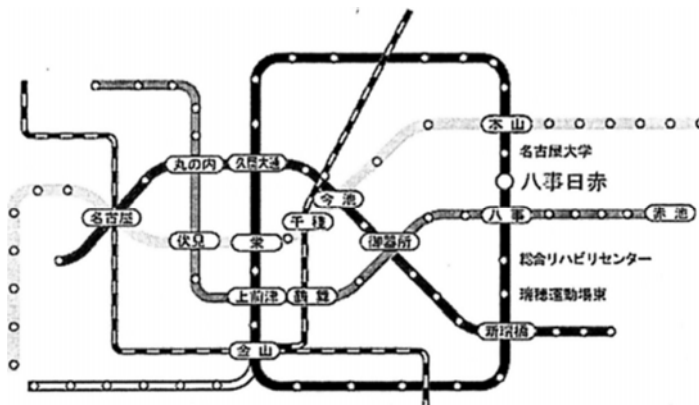
(アプローチがありますので、雨でも傘をささずに病院内に入れます)

地下鉄鶴舞線をご利用：「八事」駅で地下鉄名城線(4号線)に乗り換え「八事日赤」駅下車

名鉄・JR「金山」駅より、市バスをご利用：市バス金山12号系統「名古屋大学前」行に乗車。「八事日赤病院」にて下車してください。

地下鉄東山線・名城線「栄」駅バスターミナルより、市バスをご利用：市バス栄18号系統「妙見町」行に乗車。

「八事日赤病院」にて下車してください。



#### 編集後記

台風一過の秋晴れで心洗われるこの頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。去る8月27日に第3回の学術集會が開催されました。会長講演「不妊治療によって妊娠した女性への看護」は、そのような妊婦の前にしたときの、ケアの方向性を考える上でとても参考になるものでした。また、シンポジウムも熱気にあふれすばらしいものでした。

今年は昨年よりも参加者が増え、一層活気ある会となりました。今後、さまざまな分野で活躍する皆様からお力添えいただき、さらに学会活動がアクティブとなりますことを願っております。  
(広報委員：遠藤・林・小樺・丸山)

#### 日本不妊看護学会

Japan Society Infertility Nursing  
(J.S.I.N)

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加看護大学内

Tel & Fax 03-5550-2266

E-mail jsin@slcn.ac.jp